

Our Way to Serve

2017年に制定した「Our Way to Serve」は、ブリヂストングループが持続可能な社会の実現に貢献するための指針です。「Our Way to Serve」を通じて、下記の取り組みを行っています。

- 企業文化、事業戦略、事業活動にサステナビリティを統合する
- 新しい社会価値、顧客価値を社会、お客様、パートナーとともに共創する
- 社会と顧客のニーズと期待を両立させながら価値を持続的に提供する

「Our Way to Serve」では、人々がより快適に移動し、生活し、働き、そして楽しむことに貢献するため、「モビリティ」「一人ひとりの生活」「環境」という3つの重点領域に焦点をあてています。また、責任ある企業として欠かせない経営の基本となる6つの基盤領域で先進的な活動を進めています。

さらに、世界中の社会課題を正しく理解するため、様々なステークホルダーと定期的に対話を行っています。



「Our Way to Serve」を経営の中核に据え、 中長期事業戦略の実現を目指す



クリスティーン・カーボウィアック
Christine Karbowiak

株式会社ブリヂストン 執行役員副社長
グローバルPR・GR・サステナビリティ分掌・Global CSTO*
グローバルサステナビリティコミッティ議長

*Chief Sustainability Officer

本サステナビリティレポートにてご紹介しておりますように、ブリヂストングループは社会価値と顧客価値を持続的に提供するという目指すべき方向性に向かって全力で取り組んでいます。ESG*1課題への取り組みを進めていくことが当社グループの責任であり、今日より重要となっているそれらの課題の解決に、積極的に貢献していきます。

当社グループは、社会からの期待に応え、中長期事業戦略を実現していくために、「Our Way to Serve」を経営の指針とし、全ての取り組みの中核に位置付けています。そして、社会やお客様、パートナーの皆様と新たな価値を共創していくためには、「サステナビリティビジネスモデル」「信頼」「基盤」の3つが必要だと考えています。サステナビリティビジネスモデルを開発し推進することによって、社会価値と顧客価値を両立しながら競争優位性を確立していくとともに、業界のリーダーとして、ステークホルダーの皆様との対話や協働を通じて社会やお客様からの期待と役割を理解し、行動に移していきます。社会やお客様、パートナーの皆様と新たな価値を共創するためには、ステークホルダーの皆様からの信頼が不可欠です。社会や将来のパートナーの皆様からも信頼される会社として存在し続けるためにも、サステナビリティに向けた取り組みをさらに推進していきます。

また、責任ある企業として社会価値・顧客価値を創造していくためには、基盤となる取り組みが不可欠であり、積極的に社会要求を先取りし、リスクを機会に変えていくことも重要だと考えています。基盤領域はバリューチェーン全体の人権や労働慣行、安全といった6つの重要なテーマを取り上げており、2018年には「グローバルサステナブル調達ポリシー」「グローバル人権方針」「行動規範」を策定しました。私たちは引き続き、モビリティ、一人ひとりの生活、環境という重点領域や6つの基盤領域に関する取り組みを進めていきます。

*1 ESGは環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字をとったもの

企業文化への統合

本サステナビリティレポートに記載の通り、当社グループは「Our Way to Serve」に従業員の日々の活動に不可欠なものである企業文化、価値、ブランドに統合していきます。その取り組みは着実に進行しており、世界中の従業員を対象とした浸透度調査では、回答した従業員のうち97%が「Our Way to Serve」を認識しています。引き続き、「Our Way to Serve」に基づき、優れた活動を表彰するブリヂストングループアワードなどを通して、重点領域と基盤領域の認知向上を進めます。

事業戦略への統合

中長期事業戦略に含まれるサステナビリティビジネスモデルの構築に寄与するため、私たちは「Our Way to Serve」を実践し、サステナビリティに向けた取り組みをバリューチェーン全体の目標や戦略と融合させていきます。また、「[持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム](#)」(GPSNR)や[タイヤ産業プロジェクト\(TIP\)](#)などでのコラボレーションを通じて、社会とお客様に価値を提供していきます。そうすることでサステナビリティが当社グループの日々の業務に組み込まれ、他社との差別化、当社グループの競争力向上につながります。こうした取り組みはブリヂストンの取締役会とも密に連携して進めており、その取り組みの進捗について、定期的に報告しています。

事業活動への統合

執行の最高位の会議体であるGlobal EXCOと、グローバルサステナビリティコミッティ(GSC、前グローバルCSR推進コミッティ)の部門横断的なワーキンググループメンバーと各地域の責任者により、「Our Way to Serve」に基づく取り組みを推進しています。また、様々な地域から集められたメンバーで構成されるグローバルサステナビリティ機能を新設し、「Our Way to Serve」の企業文化、事業戦略、事業活動への統合を推進するサポートを行っています。Global CSTOであり、グローバルサステナビリティコミッティ議長である私の使命は、当社グループのサステナビリティ戦略を指揮し、Global EXCOに活動の方向性を答申することです。今後も当社グループのサステナビリティビジネスモデルの推進に貢献していきます。